

2) 天然魚蛸集状況調査

●音響給餌ブイの給餌条件

音響給餌ブイの給餌条件は以下に示すとおりである。

- 周波数 : 300Hz
- 放音時間 : 7分～8分 (放音～投餌開始:5分、投餌中10秒×10～20回)
- 放音種類 : 断続音
- 飼料種類 : マダイ用配合飼料4号 (設置～平成4年5月)
コイ用配合飼料6号 (平成4年6月～終了)
- 給餌時間、回数、量 :
設置～平成2年10月30日 6, 8, 10, 12, 14, 16, 18時 1Kg×7回
平成2年11月1日～平成5年4月22日 6, 10, 14, 18時 1Kg×4回
平成5年4月23日～終了 6, 10, 14, 18時 2Kg×4回

●蛸集魚調査方法

蛸集魚の調査方法は以下に示す方法で行った。

- 潜水による目視観察
水中監視カメラ設置前は主にこの方法で調査した。また、水中監視カメラの故障時には適宜潜水調査を実施した。
- 潜水によるビデオ撮影
目視観察の補完としてビデオ撮影を行った。
- ROVによるビデオ撮影
水中監視カメラ設置前の蛸集魚調査のために実施した。
- 水中監視カメラによるビデオ撮影
平成2年10月22日以降は主に水中監視カメラで撮影されたビデオの蛸集魚調査を行った。なお、ビデオ撮影は給餌時間を含む時間とその中間で6, 8, 10, 12, 14, 16, 18時の1日7回とした。一回の撮影時間は70秒間で、水平方向に約300'を往復撮影した。
- 漁獲調査
漁獲試験は延縄、一本釣、追込網により実施し、漁獲物については生物測定を実施した。また、一部ディスクタグによる標識放流を実施した。

3) 人工種苗放流調査

人工種苗放流調査は平成3年度から実施したが、中間育成は一部平成2年度から実施した。

●魚種

ハマフエフキ (平成3年度～5年度)

スジアラ (平成4年度～5年度)

●種苗生産

ハマフエフキ : 沖縄県水産高等学校 (平成2年度)
沖縄県栽培漁業センター (平成3年度～5年度)

スジアラ : 日本栽培漁業協会八重山事業場 (平成4年度～5年度)

●中間育成

水産試験場内陸上池 (平成2年度)
株式会社北岸水産座間味養殖場小割生簀 (平成2年度)
渡嘉敷村渡嘉敷港内小割生簀 (平成3年度～5年度)

●放流場所

音響給餌ブイ (平成3年度～平成5年度)

●追跡調査

潜水調査、水中監視カメラによるV.T.R撮影、再捕報告音響給餌ブイ (平成3年度～平成5年度)